

## 議 事 録 （ 概 要 ）

件 名	第2回米子駅周辺活性化連携会議		
日 時	令和4年11月18日（金） 午後2時30分～午後3時30分	場 所	米子市役所本庁舎4階 401会議室
出席者	別紙 出席者名簿のとおり		

### （協 議 概 要）

#### 【報告】

##### 1. 現在の状況について

- (1) 駅周辺整備検討部会について（米子市から報告：資料1 P1、P3）
- (2) 駅周辺活性化検討部会について（米子市から報告：資料1 P2、P4～P8、資料2）
  - ・質疑、意見なし。

#### 【議事】

##### 1. 今後の課題について

- (1) がいなロード（南北自由通路）の供用開始に伴うイベントの開催について
  - ・令和5年8月頃がいなロードの開通に伴い開通式と記念式典を予定している。活性化に繋げる仕組みとして、開通の前後にイベントを予定している。例えば、今年度は秋（11月20日）に開催する公共交通ふれあいフェスタを、来年度は前倒しして開催することも考えている。がいなロード開通を盛り上げるため、同時期に開催できそうなイベント等があれば協力してほしい。（市：伊澤副市長、都市創造課）
  - ➡来年8月のがいなロード供用開始にあたり、米子が生まれ変わるということをPRする意味でも、いろいろなイベントを効果的に組み合わせ盛り上げていくということが大切である。商工会議所でもいろいろな催しを実施している。その他の催しの情報があれば、調整をさせていただきます。（商工会議所：森田専務理事）
  - ➡南北の複数の拠点でイベントをすることで、がいなロードを多くの市民の皆さんにご利用いただき、併せて公共交通が便利に活用できることを感じていただきたい。（JR：和田副支社長）
- (2) 米子駅から米子城跡・米子港・角盤町周辺等への誘導について
  - 将来イメージについて
    - ・UR都市機構から米子駅周辺の将来イメージについて素案を作っていただいた。これまでも「新商都米子のまちづくり2022」などで米子駅や中心市街地を中心としたまちづくりの施策を示しているが、様々な場面で米子駅周辺のビジョンについて問われることがあった。特に米子駅周辺の活性化で新しい人流がどう生まれるか、それによってどのような賑わい・ビジネスチャンスが生まれるのかなどを市民や事業者の皆さんに共通認識していただく必要がある。今後、この将来イメージをまとめていき、まちづくりの方向性として皆さんにお示ししたいと考えている。（市：伊澤副市長）
    - ➡住民向けとしては、歩くことに加えて自転車やだんだんバスなどの移動手段の観点を加え、住民の皆さんの利便性などについて記載があった方がいいと思う。観光客向けとしては、関

西万博を睨んで米子駅からレンタサイクルやレンタカーでも米子城に行けるなど、今後準備をするといろいろ活用できると思う。(県：吉村西部総合事務所長)

➡公共交通の活用について、境線は非常に都市型の線形となっている。米子駅から博労町駅までが1km、博労町駅から富士見町駅までが500m、富士見町駅から後藤駅までが700mであり、バス停よりも短い区間である。自転車、バス、鉄道を組み込んだような絵の描き方が非常に有効であり、これらを活用していくことが必要だと思う。(JR：和田副支社長)

➡商工会議所では、駅周辺活性化検討部会の中で当所の青年部が中心となって駅前通りを活用して駅周辺を活性化できないかということを検討をしている。姫路市に視察に行き、全体的な米子市のウォークアブル事業についても構想イメージを検討している。途中段階ではあるが、状況を報告させていただきたい。(商工会議所：森田専務理事)

#### 駅前通りの活性化に関する提言(米子商工会議所青年部から報告)

#### ○だんだん広場について

・だんだん広場の中長期的な活用の方向性については、課題を整理しながら引き続き検討していく必要がある。市内における滞在空間として公園をいかに有効活用するか、市ではトライアルサウンディングを組み合わせながら、官民が連携し市民の視点に立って公園の整備や管理・運営を行う「パークマネジメント」について検討を始めている。だんだん広場は米子駅の顔であるため、駅周辺の活性化に向けて、当面はウォークアブルな滞在空間として活用することが基本的な方向性だと考えている。現在、県で都市公園として管理しているだんだん広場の利活用を円滑にするために、鳥取県から米子市へ管理移管を受けたいと考えている。今後、管理移管に向けて協議をお願いしたい。(市：伊澤副市長)

➡この度、米子市が賑わい創出や中心市街地活性化の中で、公園の利活用について一体的にお考えということであり、だんだん広場の更なる有効活用がにぎわいに資するというのであれば、だんだん広場の市への管理移管について県としても前向きに捉えたい。(県：吉村西部総合事務所長)

#### (3) 令和5年度に予定しているウォークアブル推進事業等について(米子市から説明：資料3)

・来年度、実証実験をする際には、関係機関のご協力をお願いしたい。駅前交差点改良やほこみち制度の導入についても関係機関のご協力をお願いしたい。(市：伊澤副市長、都市創造課)

➡ストリートテラスの実証実験や道路空間の利活用実証実験について、青年部としてもこれを見据えながら検討していきたい。(商工会議所：森田専務理事)

➡これらの取り組みについても将来イメージの素案に加えるといいと思う。せつかくの取り組みを住民の方にPRしたり、利便性向上の説明をするなど一体的にするとより理解が進むと思う。(県：吉村西部総合事務所長)

➡観光客や来訪者、住民の皆さんの歩行者動線を想定したまちづくりを分かりやすい形で作りたいと思う。駅の南側では市道米子駅目久美町線の整備が始まり、東山公園には令和8年に新しい体育館ができる。令和5年に駅の南口ができると徒歩圏内になり、駅の南口から歩いて行くことも十分選択肢に入ってくる。今話題の米子城やこれから整備が進む米子港エリアをお客様や市民がどう楽しみながら歩くか、動線の設定などの努力をしたい。(市：伊澤副市長)